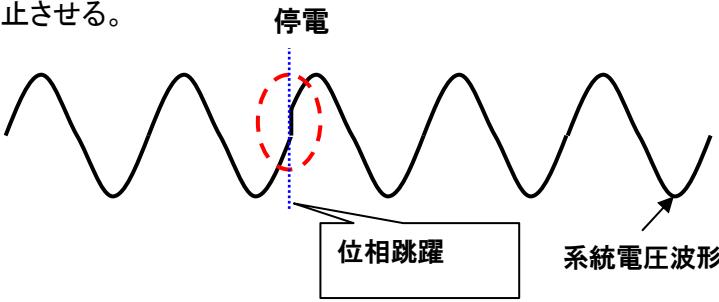
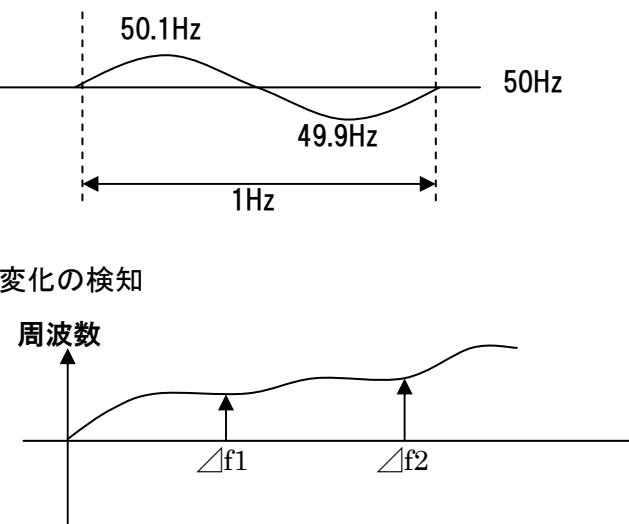


単独運転防止方式の概要

メーカー名	松下電器産業(株)	同様の方式を探用している形名	
形名	AFC1004ARS		
項目	受動的方式	能動的方式	
1. 方式名称	電圧位相跳躍方式	周波数シフト方式	
2. 基本原理	停電する際、出力電圧波形に生ずる位相の変化(跳躍)を検出する。	出力電流の目標値に、一定周期で、周波数変化を与える。周波数が50Hzならば、それに外乱を与えて、50.1Hz～49.9Hzの間を、1Hzの周期で変化させる。	
3. 回路方式 または 制御フロー	<p>位相の変化が設定値(3、4、5、6度)以上の場合、インバータを停止させる。</p> <p>停電</p>  <p>位相跳躍が整定値以上ならば、0.5秒以内にゲートブロックし、停止する。</p>	<p>(1)周波数シフト動作</p>  <p>(2)周波数変化の検知</p> <p>停電になった時、出力電流の周波数の変化を見る。今までの周波数の平均値と現在の周波数の差によって、停電検出を行う。周波数変化の方向が一定になりそれが0.5秒以上継続すると、ゲートブロック及び連系リレーを解列し、停止する。</p>	
4. 整定範囲	検出時間:0.5秒以下 整定値:3、4、5、6度	出荷時整定値 4度	検出時間:0.5～1.0秒 整定値:±0.1Hz(変動幅)
			出荷時整定値 ±0.1Hz